

くすりのしおり

内服剤

2022年12月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ブイフェンド錠 200mg

主成分：ポリコナゾール (Voriconazole)

剤形：白色の錠剤、長径 15.5mm、短径 7.7mm、厚さ 6.5mm

シート記載など：VFEND 200mg、ブイフェンド 200mg、Pfizer VOR 200



この薬の作用と効果について

真菌（カビの一種）の細胞膜成分の生合成を阻害することにより、体内の真菌感染症に効果を示します。通常、重症・難治性の真菌感染症（アスペルギルス症、カンジダ症、クリプトコックス症など）の治療や造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能が低下している、不整脈があるおよび不整脈を発現しやすい状態にある。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・成人（体重 40kg 以上）：通常、初日に 1 回主成分として 300mg を 1 日 2 回、2 日目以降は 1 回 150mg または 200mg を 1 日 2 回食間に服用します。状態に応じて、または効果不十分の場合には増量されることがありますが、初日服用量の上限は 1 回 2 錠 (400mg) を 1 日 2 回まで、2 日目以降の服用量の上限は 1 回 300mg を 1 日 2 回までです。
成人（体重 40kg 未満）：通常、初日に 1 回主成分として 150mg を 1 日 2 回、2 日目以降は 1 回 100mg を 1 日 2 回食間に服用します。状態に応じて、または効果不十分の場合には 2 日目以降、1 回 150mg を 1 日 2 回まで増量されることがあります。
- ・小児（2 歳以上 12 歳未満および 12 歳以上で体重 50kg 未満）：通常、ポリコナゾール注射剤が使用された後、1 回主成分として 9mg/kg を 1 日 2 回食間に服用します。状態に応じて、または効果不十分の場合には 1mg/kg ずつ増量されることがありますが、服用の上限は 1 回 350mg を 1 日 2 回までです。また、忍容性が不十分の場合（飲み続けられない場合）には 1mg/kg ずつ減量されることがあります〔最大服用量として 1 回 350mg を服用した場合は 1 回 50mg ずつ減量されます〕。
- ・小児（12 歳以上で体重 50kg 以上）：通常、ポリコナゾール注射剤が使用された後、1 回 1 錠（主成分として 200mg）を 1 日 2 回食間に服用します。状態に応じて、または効果不十分の場合には 1 回 300mg を 1 日 2 回まで増量されることがあります。
- ・本剤は 1 錠中に主成分 200mg を含有します。いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に通常に服用する時間が近い場合は飲まずに、次の服用時間から 1 回分を飲んでください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・この薬を使用する際は、定期的に血液検査、腎機能検査、肝機能検査、心電図検査が行われます。
- ・まぶしく見える、目がかすむ、ものが見えにくいなどがあられ、使用中後も症状が持続することがあります。使用中および使用中後もこれらの症状が回復するまでは、自動車の運転などの危険を伴う機械操作は避けてください。また、必要に応じて眼科を受診してください。
- ・光線過敏性反応（光に当たった部分が赤くなるなど）があらわれることがありますので、使用中は長袖の衣服、帽子などの着用により日光の照射を避け、効果の高い日焼け止めの使用により紫外線の照射を避けてください。なお、使用後も当分の間は、同様に注意してください。異常を感じた場合は、患部を光に当てないようにして、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
必要に応じて皮膚科を定期的に受診するよう指示されることがあります。
- ・ワルファリンと併用する場合は、出血のしやすさを確認するため、血液検査の回数が増やされることがあります。
- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）を含む食品などは、薬の作用に影響を与える可能性がありますので、取らないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、羞明（まぶしく見える）、霧視（目がかすむ）、視覚障害、吐き気、嘔吐、食欲不振、頭痛、不眠症などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・冷や汗、顔色が青白くなる、息苦しい [ショック、アナフィラキシー]
- ・高熱、皮膚が赤くなる、口内炎 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑]
- ・体がだるい・食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、昏睡 [肝障害]
- ・胸が痛い、動悸、脈が乱れる [心電図QT延長、心室頻拍、心室細動、不整脈、完全房室ブロック]
- ・体がだるい、呼吸困難、全身のむくみ [心不全]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。